

■ 公共施設等の整備方針

① 道路

- ◇ 主要道路は、バリアフリー化など安全で快適な道路空間の創出と、地域の実情に応じて、無電柱化など防災機能の強化や良好な景観の形成に努める。
- ◇ その他の区道については、新駅や小学校、河川や親水公園等をつなぐ道路を対象に、まちづくりの進捗に合わせて、周辺環境と一体的に安全で快適な道路空間となるよう、適切な手法を検討する。

② 公園・児童遊園

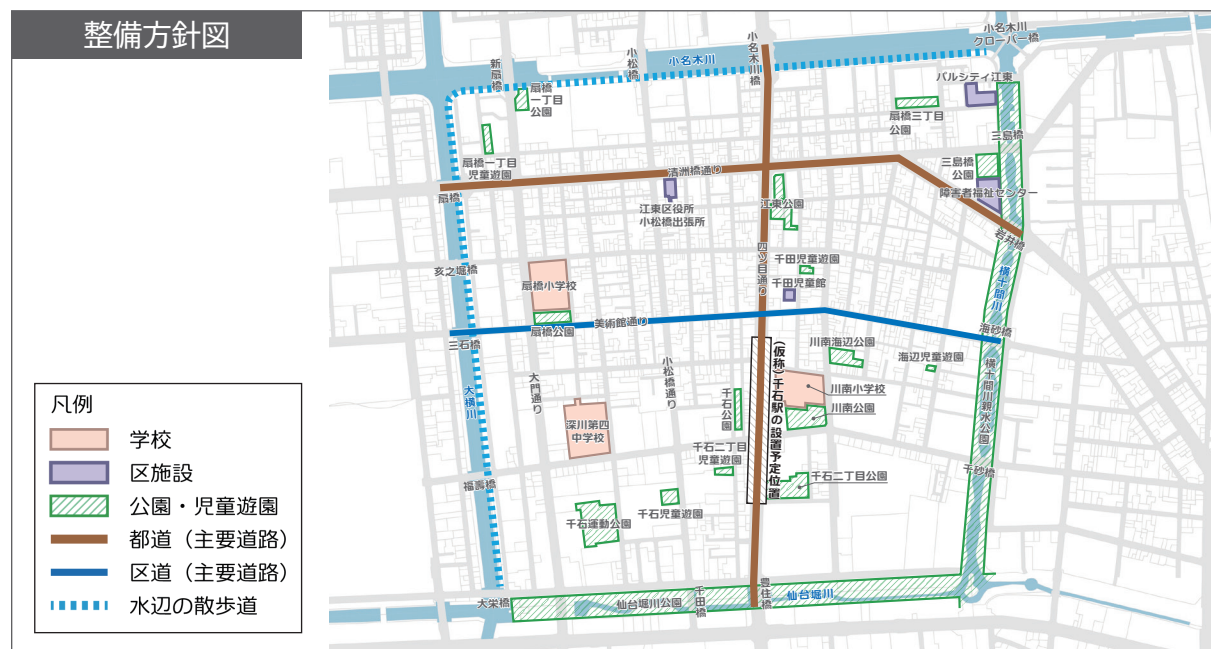
- ◇ 仙台堀川公園や横十間川親水公園では、護岸の一部撤去等によるまちなかとの連続性の確保や水上アスレチック広場の改修などにより、地区内外の人々が親しみ楽しめる、潤いと憩いの空間形成を図る。
- ◇ 今後策定予定の「(仮称)江東区公園マスタープラン」において公園の整備運営方針を定め、魅力ある空間づくりを推進する。

③ 水辺の散歩道

- ◇ 小名木川や大横川沿いの水辺の散歩道では、ベンチ設置などによる憩い空間としての機能を充実し維持・管理することで、親水性向上を図る。

④ 公共交通等

- ◇ 自転車利用者の利便性に配慮し、駅近傍ゾーンまたはその周辺に自転車駐車を整備するとともに、安全で快適な自転車通行空間の充実を図る。
- ◇ 先進技術を活用した多様な交通モードの導入や乗り換えを交通事業者や民間事業者、地域住民等と連携し、新駅周辺に充実した交通結節機能の誘導を図る。また、地域ニーズを踏まえてコミュニティサイクルポートの設置の拡充を図るとともに、多様な交通モードや乗り換えを可能とする乗換拠点(モビリティハブ)の整備など、先進技術を活用した誰もが移動しやすい交通環境の形成に向けた取組を検討する。



「令和3年度土地利用現況調査」(江東区)を基に作成

■ まちづくりの進め方

今後、本地区でまちづくり事業が行われる際には、区は本方針を基にまちづくりを指導及び誘導していくことで本方針との整合が取れたまちづくりを実現を目指していく。

また、地区計画などの都市計画手続きが必要な手法等、地域への影響が大きなものについては、各関係主体と特に連携を図りながらまちづくりを進めていく。

連絡先

江東区 都市整備部

まちづくり推進課 まちづくり担当(8号線沿線)

東京都江東区東陽4-11-28 庁舎5階23番窓口

電話03(3647)9021(直通)

<https://www.city.koto.lg.jp/392200/8gou-sennmachi.html>

(仮称)千石駅周辺の地区まちづくり

検索



(仮称) 千石駅周辺地区まちづくり方針【概要版】

■ 本方針の目的

本方針は、地域主体の(仮称)千石駅周辺地区まちづくり協議会から提出されたまちづくり提案書を受け、本地区におけるまちづくりの方向性を示すとともに、その実現に向け、多様な主体が連携し、まちづくりを推進するための指針として定める。

■ 地区の目指す姿【全体目標】

◆(仮称)千石駅周辺地区の目指す姿【全体目標】

豊かな地域資源を活かし、活気あふれる、
安心して暮らし続けられるまち

将来に継承したいまちの良さを育てつつ、新駅設置による変化に対応した安心して
暮らし続けられるまちを目指します。

■ 地区の目指す姿【基本方針】

◆(仮称)千石駅周辺地区の目指す姿【基本方針】

安全・安心 災害や犯罪に対応した安心して暮らし続けられるまちづくり

水害や地震などの災害対策や、地域のつながりを活かした見守りや声かけなどの犯罪への対策を推進し、全ての人が安全・安心に暮らし続けられるまちを目指します。

暮らし・憩い 利便性が高く暮らしやすいまちづくり

商業機能や飲食店の充実などによる生活利便性のさらなる向上を図りつつ、下町情緒を感じる良好な居住環境を保全することで暮らしやすいまちを目指します。

水辺・環境 豊かな緑や水辺を誰もが楽しみ親しめるまちづくり

豊かな緑や水辺に囲まれた地域特性を活かし、居住者、来街者を惹きつける潤いと憩いの場の充実を図り、誰もが楽しみ親しめるまちを目指します。

交流・にぎわい 下町らしさを大切にしたにぎわいのあるまちづくり

地域の行事や商店街を中心とした下町らしいコミュニティを維持するとともに、新駅設置による世代や地域を超えた新たな交流機会の創出により、にぎわいのあるまちを目指します。

交通・つながり 地域全体がつながり、安全で快適な人にやさしいまちづくり

新駅を中心とした交通結節機能の拡充と歩行者や自転車利用者等の安全性・快適性の向上などに取り組み、ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な人にやさしいまちを目指します。

■ 土地利用の方針

■ 駅近傍ゾーン ～まちの顔となる交通・交流の結節点～

- 個別目標 生活利便施設の誘致や駅前機能の整備などによって、交通・交流・生活におけるまちの顔となる空間を形成する。
- 個別方針
 - ◇ 自転車駐車場の整備やコミュニティサイクルポートの設置を拡充するなど多様な交通モードを集約し、移動の選択肢を提供する乗換拠点（モビリティハブ）の整備などによる交通結節機能の強化を図る。
 - ◇ ユニバーサルデザインに配慮した駅及び駅周辺空間の整備や、デジタルサイネージなどによるまちの情報発信により、人々が気軽に交流できる環境の形成を図る。
 - ◇ 商業機能の誘導や広場空間の整備などによる地域の拠点づくりのため、必要に応じて都市計画手法等を活用するなど、土地利用の適切な誘導を図る。

■ 複合市街地ゾーン ～安全・安心で心地よいまちなか～

- 個別目標 人々の暮らしや営みを感じられるまち並みの継承と、災害対策など安全・安心な暮らしの基盤の整備に取り組む。
- 個別方針
 - ◇ 災害に強いまちづくりを目指し、浸水対応型まちづくりを推進するとともに、民間団体・企業との災害時協力協定締結の拡充を図る。
 - ◇ こどもの居場所づくりや見守り活動のほか、落ち着いた居住環境の維持継承に向けた地域のルールづくりなどによる、安心して子育てや生活ができる環境づくりを促進する。
 - ◇ 公共施設の長寿命化を図りつつ、地域住民の滞在やコミュニティを支えるまちなかの居場所に向けた新たな活用方法を検討し、交流機会の充実を図る。

■ 防災生活ゾーン ～災害に強いまちなか～

- 個別目標 小規模敷地の多い市街地の地震や火災への防災性を高めながらも、下町らしく住み続けられるまちづくりに取り組む。
- 個別方針
 - ◇ 建築物の耐震化や不燃化の促進とともに、細街路の拡幅などを進め、安全・安心に住み続けられるまちを目指す。
 - ◇ 消防団や災害協力隊（自主防災組織）、地域ボランティアによる見守りなど、地域コミュニティによる防災・防犯活動を促進する。

■ コミュニティゾーン ～コミュニティの核となるにぎわい空間～

- 個別目標 美術館通りや宇迦八幡宮を中心としたにぎわいや地域コミュニティを形成する。
- 個別方針
 - ◇ 本地区のコミュニティの拠点として、美術館通りや宇迦八幡宮などを活用した多様な地域イベントや情報発信によるにぎわいの創出を目指す。
 - ◇ 地域のにぎわいにつながる店舗等の誘導や誰もが快適に過ごせるまち並み形成に向けた地域ルールづくりを促進する。

■ 水辺交流ゾーン ～多様な交流が生まれる憩いの空間～

- 個別目標 水面やその周辺の活用により、多様な人々が集い、交流できる空間形成を促進する。
- 個別方針
 - ◇ 水辺の散歩道におけるベンチの設置など、安全で過ごしやすい憩いの場に向けた環境づくりを目指す。
 - ◇ 水辺の活性化及び魅力の向上を目指し、川を活用した体験やイベントなどによる水域利用を促進する。

■ みどり憩いゾーン ～のびのび楽しい憩いの空間～

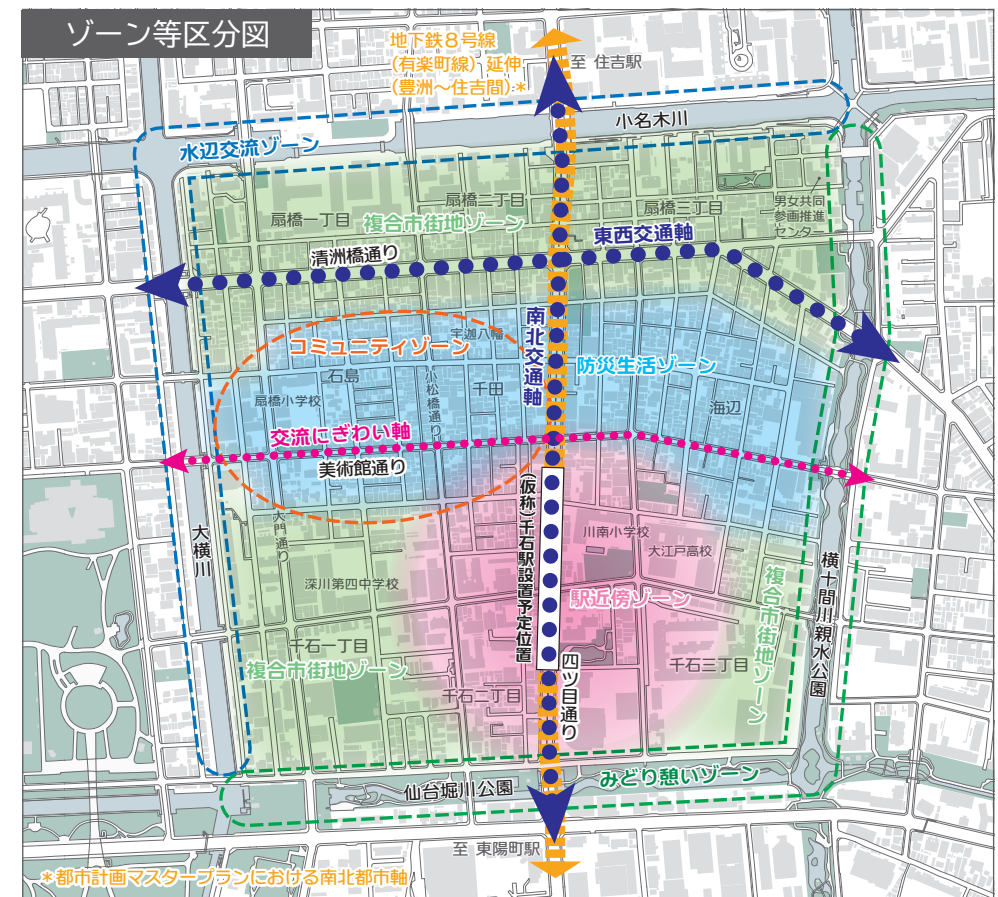
- 個別目標 地区内外の人々が親しみ、楽しめる潤いと憩いの空間形成を推進する。
- 個別方針
 - ◇ 潤いと憩いの空間形成を目指し、公園機能を充実させるとともに民間事業者との連携等による魅力ある空間づくりを推進する。
 - ◇ 地区内外の人々が親しめる公園を目指し、駅近傍ゾーン等各ゾーンと連続性の高い空間形成を図る。

◀… 交流にぎわい軸 ～コミュニティをつなぐ歩行空間～

- 個別目標 安全で快適な道路空間の確保に加え、隣接する地域とのつながりを強化し、にぎわいやコミュニティを地域全体へ広げる。
- 個別方針
 - ◇ 交流にぎわい軸を中心に、人々が憩い、交流し、楽しく歩くことができるウォーカブルな空間とする。
 - ◇ コミュニティゾーンと連動した店舗等の誘導や道路空間を活用したイベントの実施などにより、にぎわいを地区全体へ広げるとともに、地区外との交流を促進する。
 - ◇ にぎわいがつながる道路空間やまち並みの形成を目指し、通りのしつらえの統一などによる魅力向上や低層階への店舗等の誘導を図る。

◀… 南北交通軸・東西交通軸 ～人とまちをつなぐ大通り～

- 個別目標 地区内外の人や物をつなぐ広域的な連携軸として、安全で快適な道路空間や緑豊かで魅力的な沿道空間を形成する。
- 個別方針
 - ◇ 歩道の拡幅や無電柱化などによる、誰もが安全で快適に移動することができるウォーカブルな道路空間の形成を図る。
 - ◇ 地域ボランティア等による道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動等により、広域的な連携軸にふさわしい緑豊かな道路空間の形成を図る。



「基盤地図情報」（国土地理院）を基に作成